



ひゅーまんらいつ

第43号 平成16(2004)年5月



今年度の計画

が決まりました。



米子市では、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向け、各種の取り組みを米子市全体で進めています。

その中の大きな取り組みの一つが人権・同和問題に関する市民啓発です。

今年度もさまざまなニーズ・対象に合わせた研修会等を行う予定にしていますので、皆さまどうぞご参加ください。

人権啓発って？

「人権啓発」ってムズカシそうですか？

でも、知ってみると意外と簡単なことなんですよ。

□人権問題についての正しい知識を持ち、身近にある不合理な差別などに気づくことができるようになる。

□その「知識・気づき」を普段の生活で活かし、行動できるようになる。

などを目的に、市民の方々などを対象に行う啓発活動のことです。

米子市を…

米子市では、人権啓発の取り組みを通じて、一人でも多くの方々に人権・同和問題について関心を持っていただき、また理解していただけるよう努力しています。

「人権が尊重されるまち」の主役は、ほかでもない市民の皆さまひとりひとりです。

研修会などに参加し、少しずつでも「気づき・行動」できるようになるようになってみられませんか？

研修の予定

□PTA人権・同和教育研修講座

開催日：6月9日(水)、7月23日(金)、
10月16日(土)

□市民向け人権学習講座

開催日：10月～12月予定

□よなごの人権フォーラム'04

開催日 12月開催予定

□第30回米子市同和教育研究集会

開催日 平成17年1月20日(木)

□人権・同和教育小地域懇談会

5月ごろより、各自治会単位で開催されます。
この他にも・・・

□第29回部落解放鳥取県研究集会

開催日：8月17日(火)～18日(水)

場所：ビック・シップほか

などが開催されます。

これらの研修会、その他行事等についての詳しいことは、米子市人権政策課 ☎23-5415(直通) または、米子市人権情報センターまでお問い合わせください。



今月は“子どもの日”がありました。

子どもの健やかな成長は誰もの願いですが、何かにつまづいた時、そっと支えられる、そんな大人になりたいものです。

ひとりで生きていきようにはなってほしいけど、人を傷つけるいうのはいけないと思います。

小学校のとき、『でぶ言われるから行きたくない。』ってことがあったんです。それで『お母さんも、でぶやから外にも出られへん。どうしたらいい？ずっと家で泣いとかなあかな。』ってこんな感じで言ったんです。

『でぶという言葉は、言われたって痛くもかゆくもないやろ。だけど、自分が言われて傷つくんやったら、あんたは言ったらあかんよ。』ってそういうことを言ったら、校長先生が『いい話ですね。学校の新聞に書かせてもらえませんか。』って言われてね、たいした話でもないと思うけど…



「よみがえる部落史」

(2000年 社会思想社
上杉聡 著 1,800円)

そして近年、研究が進み、従来の説や考え方に変化がみられ、新しい考え方に基づいた人権啓発・人権教育が行われるようになりました。

- ・部落差別はどこから来たの？
- ・信長・秀吉・家康と部落差別の関係は？

そんな私たちの素朴な疑問に答えながら、部落の人々の息づかいが、ここによみがえる一冊です！

新着書籍の紹介

人権情報センターでは、随時新刊等の書籍を購入しています。その中から数点を紹介します。

□光とともに… 1～5 ー自閉症児を抱えてー

2001年～ 秋田書店 戸部けいこ 各760円

□部落史 50話

2003年 解放出版社 中尾健次 1,600円

□やさしいことばで日本国憲法

2002年 マガジンハウス 池田香代子 訳
C.ダグラス・ラミス 監修・解説 952円

□効果のある学校 学力不平等を乗り越える教育

2003年 解放出版社 鍋島祥郎 1,600円

□ハイスクールウォーズ I・II

高校生のこころとジェンダー
見えざる階層的不平等

2003年 解放出版社 鍋島祥郎 各1,200円

□早わかり 人権教育小事典

2003年 明治図書 中野陸夫 1,860円

□女の子の性の本 こころもからだも私のももの

2003年 解放出版社

池田久美子・尾藤りつ子 1,000円



「部落史」とは、被差別の立場におかれた人々のルーツ、差別意識が生まれた背景などで、これを知ることによって、現存する部落差別をより理解することができます。



米子市人権情報センター（人権政策課内）

URL : <http://yonago-city.jp/jinken/>

米子市東町161-2 TEL0859-37-3183 Fax0859-37-3184